

## good bright interesting game

“Rugby is a strenuous physical contact game.” ラグビーは strenuous 身体接触ゲームであるということはどのようなことを言っているのでしょうか。

Rugby が激しいスポーツだと言うことを否定するものではありませんが、一口に「激しい」と言っても内容や程度に幅があります。激しい風とか、激しい音等々ものによって強弱大小内容が異なります。激しいという意味の英語は hard; violent; furious; severe 等が使われます。激しい議論は a hot [heated] argument となり、野球などでは hustle play もよく見られます。strenuous は [making requiring great exertion] (大きな努力をすることはまたはその必要性) です。他の語でなく strenuous を用いられたことは意義のある重要なことなのです。同じ激しいでも他の語で表せないものがあるのです。奮闘的と訳したりしますが hard 激しさを競うことではなく violent 暴力的傾向がでないように導く精選された一語なのです。その主旨は心が heat 熱くあっても冷静にゲームを楽しむことをプレイヤーに求めているのです。strenuous physical contact をしながら good bright interesting game を創り出していく楽しさを教えているのです。

“tackle は curious situation を生み出す” というのも considerable 考える価値のある一語です。curiosity は好奇心という意味です。curious 好奇心をそそる状況はやり方によっては面白さ楽しさが大きく広がる局面です。好奇心は成長の芽であり楽しさの源泉です。プレイヤーが good bright interesting game を創り出すことを求められているのです。解決の方向性は simpler and easire です。勝つことにこだわって Laws の盲点を突くような下心があってはゲームに困乱を招くことになってしまいます。

good は悪い bad, wrong の反対の「良い」ではなく equal condition 即ち fair で open play を心がけ safety 安全留意の Laws の精神を具現することです。bright は賢明即ち智性が見え、明るい空気が感じられることです。個々のプレーやゲーム作りの冷静で的確な判断と flair が生かされなくては賢いとは言えません。勝利への悲壮感ばかりでトゲトゲしい様子から明るさが見えないのはスポーツ本来の楽しさを逸脱しているのです。激しい中にも friendly (友好的) な面が感じられ fair に勝敗を争うことが望まれるのです。

interesting は興味あふれるゲームの流れに引き込まれゲームが終わった後の満足感の大きさが貴重なものであって勝敗を決めるだけのゲームであっては面白みもなかつまらないものです。

以上 good bright interesting game を創り出すのに心がけるべきことをまとめてみました。ラグビーは attitude が元になります。“a free flowing game involving 15 players in some breath taking spectacular, and “hey presto!” it happens” と言えるゲームを見たいものです。

2013.06.26  
西川 義行